

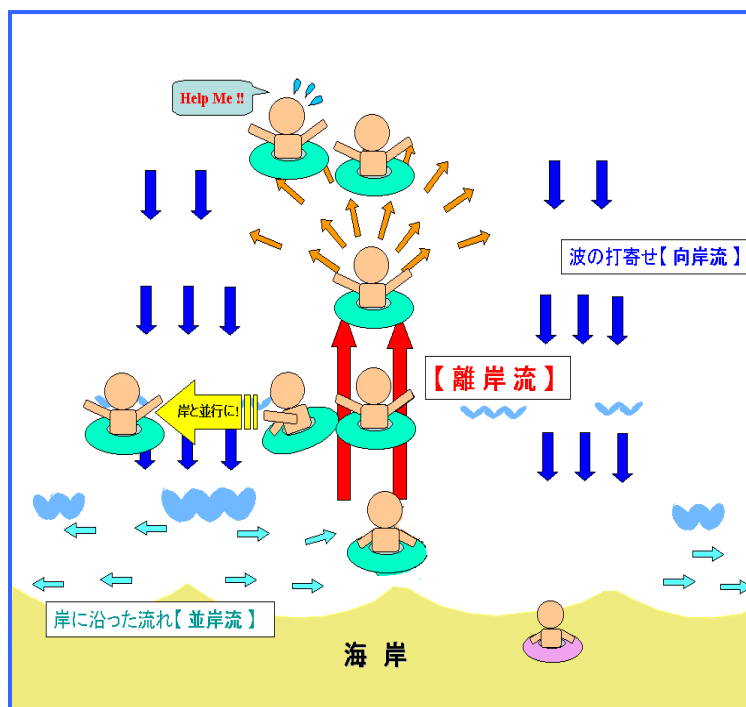
○ 離岸流(りがんりゅう)に気をつけよう

離 岸 流 と は

6月になり、気温・水温も徐々に上昇し、本格的なマリンレジャーのシーズンが近づいてきました。事故のないマリンレジャーを楽しんでいただくために、事故原因の一つと考えられる「離岸流」についての話です。

「離岸流」とは、右図のように海岸で発生する、岸から沖の方へ流れる速い流れのことで、その速さは毎秒1～2mに達することもあります。毎秒2mだとすると、水泳の男子100m自由形世界記録の速さと同じくらいの速さです。

この様に「離岸流」で流されてしまうと、あっという間に沖まで流されてしまい、大変危険な状況となります。



もし、泳いでいて「離岸流」で流されたら、どうしたら良いのでしょうか？

大切なことは、先ずパニックにならずに落ち着くことです。前述したように「離岸流」は速いので、焦って海岸に向かって泳ぐのでは、体力を消耗するだけで、かえって危険になってしまいます。

では、どうすれば良いのでしょうか？

「離岸流」の幅は、最大でも50m位なので、冷静になって海岸と平行に泳げば、「離岸流」から早く脱出することができるでしょう。

安全な海水浴を楽しむためには、「離岸流」に流されない事も大事ですが、「自分の泳力を過信しない」、「一人で泳がない」、「遊泳禁止区域では泳がない」ことも大切になります。

また、海水浴場等では海上保安官、警察官、監視員やライフセーバーの指導や注意を必ず守りましょう。

最後になりましたが、泳ぐ際は体調に十分留意し、準備運動をしっかり行いましょう。

インターネットホームページアドレス

様々な海に関する情報をインターネットで提供しています。新潟・富山・石川各県の主な港の潮汐情報や河口域と浜辺の海洋情報等掲載していますのでご利用下さい。

● 第九管区海上保安本部海洋情報部 <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN9/index.html>

● (携帯) <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN9/imode/index.html>

○ 春の海水温は低かった？

5月の始めに海の相談室に寄せられた質問で、「海水温が平年と比べ低くないですか？」というような質問が複数ありました。

そこで、最近の海水温が低いのかどうか、ホームページで提供しているデータを基に、検証してみました。海の相談室では、水族館や港湾関係団体の協力により新潟県及び富山湾沿岸の海水温データの提供を受け、インターネットホームページ等で提供しています。

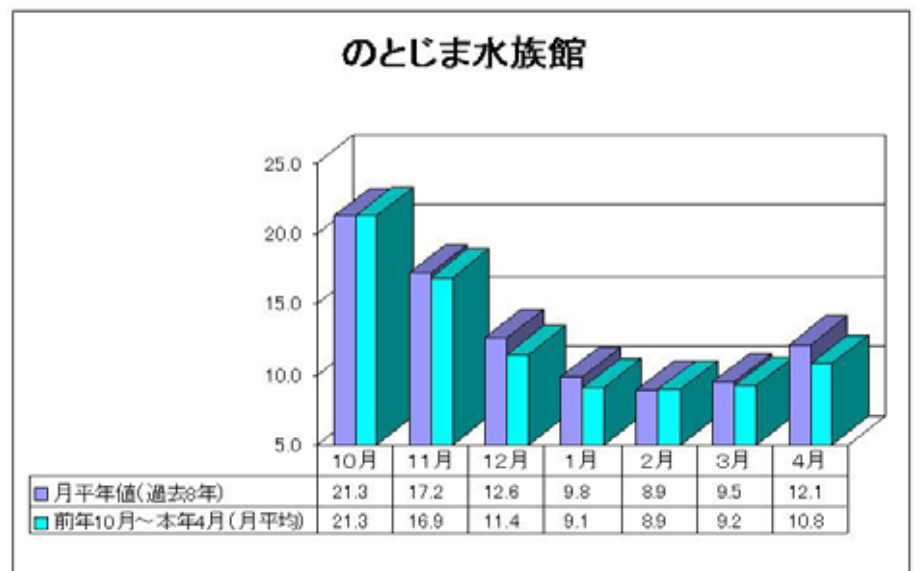
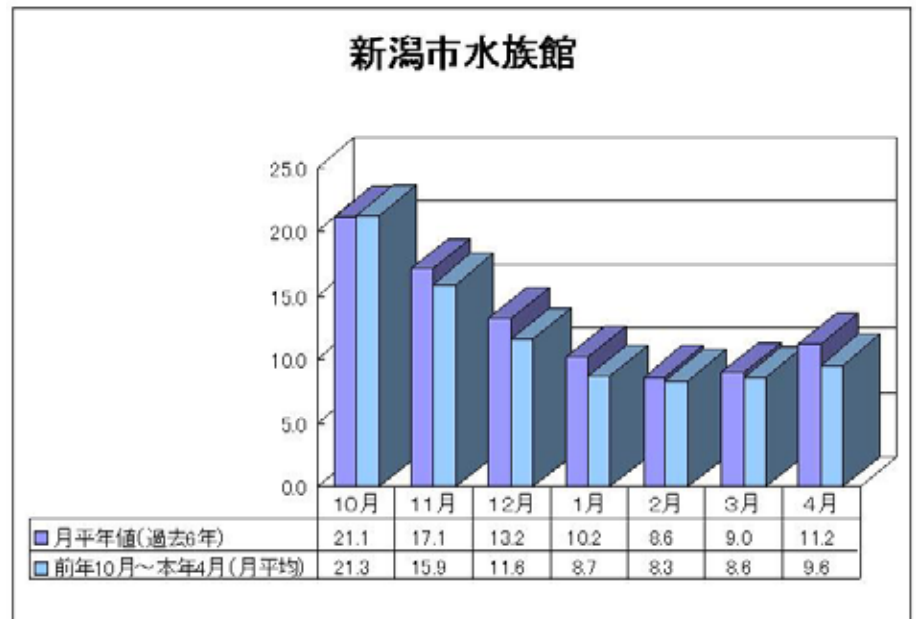
今回は、「新潟市水族館（新潟市西船見町）」と「のとりま水族館（七尾市能登島）」から提供を受けている、表面海水温のデータの内、前年10月～本年4月分を右図の様にグラフ化し、比較してみます。

このグラフをみると10月は両地点とも平年並みとなっていますが、11月～1月は「新潟水族館」では、平年と比べると1.2～1.5度低くなっています。「のとりま水族館」では、11月はほぼ平年並みですが、12月～1月は平年より0.7～1.2度低くなっています。2月～3月は、両地点ともほぼ平年並みとなっています。

しかし、4月は水温の上昇が鈍く、「新潟水族館」では1.6度、「のとりま水族館」では1.3度、平年より低くなっていました。冒頭の質問（「海水温は低くないか？」）どおりの結果となりました。

5月になると、25日までの平均値で、「新潟水族館」では13.1度、「のとりま水族館」では15.5度となり、ほぼ昨年並となっています。

九管区海の相談室では、「新潟水族館」と「のとりま水族館」をはじめとする海水温データを、ホームページに掲載しています。



海上保安学校採用試験

● フリーダイヤル 0120-444-576

海上保安庁では、海上保安学校学生採用試験を行います。
募集期間は、7月18日～8月1日、一次試験は、9月24日となっています。
受験資格等、採用試験の詳細は左記へ、お問い合わせをお願いします。